

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	59	学 校 名	静岡県立横須賀高等学校	校 長 名	鈴木 雅道
------	----	-------	-------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

小笠・掛川地域に根差し、地域に密着した高校として、少人数指導で個性を伸ばし、主体的・実践的な教育を通して、地域に貢献し、地域の将来を担う人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
・自分自身の適性を知り、目標実現のために努力できる人 ・持続可能な社会の担い手として地域に貢献する人 ・コミュニケーション能力を身に付け、他者と協働し主体的に行動することができる人 ・敬愛と感謝の念を持ち、社会との共生ができる人 ・好きなことに熱中する誠実な姿勢が誰からも愛される人 ・常識的な判断と高い人権意識で家族を大切にする人	・共通性と多様性のバランスがとれたシティズンシップ教育を推進します ・進路や適性に応じた情報提供、自ら選択する機会を増やす、個を尊重にした指導を行います ・ICTを効果的に活用し、主体的・対話的な学習を促進することにより、コミュニケーション能力を伸ばし、学びに向かう力を育てます ・課題を把握し、迅速且つ計画的な解決に向け行動できる力を伸ばします ・地域企業・自治体等との密接な連携により、体験的・探究的な学びを充実します	・感情をコントロールし、授業を大切にできる生徒 ・部活動、生徒会活動、行事等、高校生活の目標を明確にし、意欲的に取り組もうとする生徒 ・差別やいじめを許さず、多様性を認め合って、明朗なコミュニケーションができる生徒 ・時間とルールを守り、落ち着いた生活ができる生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 【学びに向かう力の涵養】

安心安全な環境下で、授業を大切にする学校風土を育むとともに、中上位層の学力伸張を達成するための工夫

イ 【豊かな心の育成】

生徒指導提要に即したガイダンスとカウンセリングによる心的安全性とユニバーサルデザインの授業を展開し、自己肯定感享受による在るべき人間関係の確立、ルールの遵守と高い人権感覚を有する感性を育成する

ウ 【安心・安全の確立】

人権教育、道徳教育と生活・交通・防犯の安全確立及び自他の命を大切にする教育を推進するとともに、生徒による防災組織を構築する

エ 【多様な生徒への対応】

希望する進路実現に向けた個別最適な学びの実践、インクルーシブ教育に向けた特別な配慮を必要とする生徒への支援強化、共通性と多様性のバランスのとれたシティズンシップ教育

オ 【地域との連携・協働】

学校運営協議会の円滑な運営と役割分担の明確化により地域の課題解決や魅力発信、信頼される学校づくりを推進する

カ 【自己有用感の育成】

失敗を励まし、期待を表現し続ける指導により、生徒のプライド、気概、粘りの意識醸成に向けた部活動及び特別活動、学校行事の一層の活性化を図ることで、生徒の居場所を確保する

キ 【今日的課題への対応】

ICT活用指導力向上、地域人材と産業・伝統文化の理解と探求的な活動、生徒指導提要に基づいた生徒支援、働き方改革の推進、適正な会計処理と労務管理、チーム横須賀(職員の OODA ループ=報連相チーム協同)推進

3 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・ I C T 機器の効果的な活用 ・ 学習歴の保存意識向上 ・ A L（アクティブラーニング）等の学習形態の工夫によるコミュニケーション能力の育成	・ 授業で日常的に I C T を活用する職員 90%以上 ・ 「ノートやワークシート、端末等を活用し学習の記録をしている」生徒 90% ・ 1 単元 1 回以上 A L を実践	学習支援 全教科
	義務教育段階での学習内容の確実な定着	・ ユニバーサルデザインの授業、教室環境作りの徹底 ・ 充実した朝学習と振り返り可能な教材（すららネット）の活用 ・ 「学びの基礎診断テスト」の活用	・ 教室整備、板書、プリント、I C T、提示等の工夫を意識して行っている職員 100% ・ 自身が立てた朝活（朝学習）の計画や目標が達成できた生徒 75%以上	全教科 学年
	中上位層の学力伸張	・ 「授業が成り立つ環境作り＝目標作り」と「楽しい授業＝わかる授業」の実践 ・ B Y O D による個別最適な学びの提供 ・ スモールステップで目標を持たせ達成感を持たせる学習指導 ・ 成績優秀者への表彰 ・ 各種検定への挑戦	・ 「授業がわかる」生徒 75%以上 ・ 1 時間の授業や単元の学びに目標を提示して取り組んでいる教員 100%以上 ・ 端末を活用して毎日自ら学ぶ時間を確保する生徒 75%以上 ・ 授業の中で小テスト等実施による短期間・小範囲での学び実施 100% ・ 検定の合格率 平均 60%以上	全教科 学年 英家工商
イ	基本的生活習慣の確立	・ 進路に係る欠席・遅刻・早退数（求人目安、指定校目安）の提示による体調管理意識向上 ・ 規則正しい食事・睡眠習慣に関する指導 ・ 教育相談の充実	・ 欠席、遅刻に関して、事前に連絡している生徒 100% ・ 課題等を期限内に提出している生徒 75% ・ 規則正しい生活を送れている生徒 80% ・ 年間 3 回以上、生徒との面談と随時教育相談の実施	学習支援 生徒支援 各学年
	高い規範意識の育成	・ シティズンシップ教育の推進 ・ 授業規律の確立 ・ 発達支持的生徒指導の重視	・ 気持ちの良い挨拶と返事、笑顔を意識している生徒 75%以上 ・ 机、ロッカーなど整理整頓ができる生徒 75% ・ 時間とルールへの遵守重視生徒 75% ・ 生徒の成長の変化に気づき声かけした教員 100%	学年 生徒支援 全教科 全職員
	情操の育成	・ 図書室活用推進及び読書週間の確立につなげる指導 ・ 読む、書く、伝える活動充実 ・ 弁論大会一人一作品発表 ・ 清掃を活動の積極的参加	・ 図書館等（朝読書用本棚、出張本棚）を利用した生徒 75% ・ 清掃活動重視の生徒 75% ・ ゴミの持ち帰り 100% ・ 「自分は大切にされている」生徒 100% ・ 「他者の役に立っている」生徒 70%	総務図書 生徒支援 学年
ウ	校内安全 （学校保健、学校体育、生徒指導）	・ グッドマナー横高の推進 ・ 体力向上、健康の保持増進 ・ 発達支持的生徒指導によるいじめや触法行為の未然防止	・ 歯科眼科再受診率前年比増 ・ 新体力テストで体力が向上した生徒 60%（前後期比較） ・ 学校生活アンケート年 3 回以上の実施と早期発見体制の構築 ・ 重大ないじめ件数 0 件	生徒支援 保健室 保体科 全職員
	交通安全	・ 自転車走行マナーの向上 ・ 交通安全意識の醸成	・ 生徒、保護者、教員による交通安全指導年間 3 回以上実施 ・ 重大な交通事故 0 件	生徒支援
	防災安全	・ 防災教育推進による地域ぐるみの防災意識高揚 ・ 生徒の防災意識向上	・ 学期 1 回以上防災訓練実施 ・ 中学生と合同の防災訓練の実施 ・ 生徒による防災組織の見直し	総務図書

様式第 1 号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	命を大切にする教育	・人権・道徳教育の推進 ・生徒指導提要に則った生徒指導の充実	・授業で人権・道徳教育を実施した教員 100% ・関連講座の満足度 75% ・生徒に対する適切な言葉遣いを意識した職員 100%	生徒支援 全職員
	危機管理	・コンプライアンス研修実施 ・非常時の組織体系構築 ・施設設備の安全点検実施	・教職員の不祥事 0 件 ・危機管理マニュアルの再構成 ・一斉安全点検年 3 回以上	管理職 総務図書 職員安全衛生委員会
エ	希望する進路の自己実現	・職業人講話、インターンシップ等による職業観の醸成 ・PTA、地域人材の面接指導依頼 ・進路内定時期から逆算した 1, 2 年生のキャリアアップにつながる実践の充実	・生徒の進路指導満足度 75% ・“進路マップ”作成による進路実現までの計画が立てられた 1, 2 年生 75%	キャリア支援 学年
	多様な生徒の支援及び特別支援教育の充実	・特別支援教育に係る研修充実 ・生徒の多様性に配慮した個別支援の充実と社会性醸成（ケース会議による組織的支援、外部機関、専門家との連携）	・特別支援教育の知識やスキルを支援に活用した職員 75%以上 ・よこすか手帳の有効活用率 75% ・新入生 S S T 講座年間 3 回以上実施	生徒支援 全学年 全職員
オ	地域に根ざした学校	・保幼小中との交流 ・学校 HP、SNS、ポスター等による情報発信の強化 ・部活動等による地域貢献 ・地域行事や地域連携事業へ協力参加する生徒増加	・異年齢と積極的に交流した生徒 100% ・本校の様子週 1 回以上発信 ・一部活動一ボランティア実施 100% ・地域行事や地域連携事業への協力参加生徒 10%以上	学年 広報委員会 全部活動 全職員
	地域との連携・協働	・地域人材・資源の活用 ・学校運営協議会との協働 ・総探と L H R での郷土愛育成によるシティズンシップ教育 ・グローバル・ハイスクールの研究成果を生かした持続可能な学習企画創作	・総合的な探究の時間等で地域と連携した取り組みについて、まとめや発表をすることができる生徒 80%以上 ・地域の文化、産業、人材に関心が持てた生徒 75% ・将来は地元で地域貢献したいと考える生徒 75%以上 ・地域との協働にかかわった職員 75%	管理職 全職員 学習支援 探究委員会 キャリア支援
カ	部活動と学校行事の一層の活性化	・部活動で目標を持ち前向きに取り組む生徒の育成 ・生徒会主体の行事等運営 ・生徒の自己肯定感充実場面創出	・部活動など放課後の活動が充実している生徒 90% ・学校行事に積極的に参加している生徒 100% ・生徒会活動の満足度 75%以上	全職員 生徒支援 行事担当職員
キ	働き方改革に対する組織的取組	・教員間の協働性の向上 ・時間外勤務時間削減の徹底 ・支援員採用による業務整理 ・心理的安全性の担保 ・業務整理の推進(やめる・へらす・かえるの検討) ・部活動統廃合等の協議推進 ・長期休業中の自己研鑽等充実	・最終退庁時間午後 8 時 30 分遵守 100% ・部活動ガイドライン遵守 100% ・時間外在校時間 月 45h 超 10%以下 ・職員室の休憩場所改善 ・支援員採用による業務軽減(キャリア支援・総務図書)50% ・分担と整理による協働体制 100% ・部活動検討委員会年間 2 回以上開催 ・長期休業中の研修等受講率 75%	全職員 管理職 キャリア支援 総務図書 生徒支援 部活動検討委員会